



# 城合ニュース

発行責任者 高柳勝巳 〒378-0055 沼田市柳町2583-8 ルピナス103号  
☎&FAX 25-8062 Eメール xx.takayanagi-po@au.wakwak.com  
ホームページ <http://www.ayumu-kai.jp/> ← バックナンバー購読もこちらから。



【高柳Q】利根沼田一般廃棄物処理広域化施設整備協議会での議論の進捗状況と沼田市や市議会の意見反映について伺います。本整備組合の組織機構図を改めて見てみますと、いわゆる執行機関は「理事会」となっており、組合議会の構成員は同じく圏域内の8人の議員から成立しています。理事会が議題として提案し、組合議会が協議して承認されると関連予算が計上され、事業執行となります。

逆に言うと、理事会で議案として提案されなければ、今後予定されている住民説明会などの意見や私の質問などは、具体化されない組織上の仕組みになっています。理事会に議案として上程されるまで、どのような経路を経て反映されていくのか伺います。

### 心配事その⑤関係者の意見反映は大丈夫？

【高柳Q】（環境影響調査などの結果は）「万が一の事態」が起きない限り、数値上は問題になることのない調査報告になると推察致します。そして、その数値に基づいて「丁寧な説明」が実行されると、数字上では苦情や意見が大変言いにくくなることも容易に想定されます。

こうした流れに従うと、不適切な場所に不自然な建物が建設されるといった「極めて稀なケース」も散見されています。

この万が一の事態が無ければ数値上は可能な事業は、「出来れば回避したい事案」であることが多いと考えます。

本当に候補地は利根沼田圏域の中に無いのか改めて慎重な検討を望みます。そして、市長にはこうした「数値のマジック」に捕われるのではなく、50年先を見据え、住民生活最優先の姿勢を貫く英断を求めます。

**利害関係者は意見書の提出が可能**  
新施設予定地周辺の方々はもちろん、そこから半径約1kmの円の内側にお住まいの方々、進入出路の沿線にお住まいの方々です。

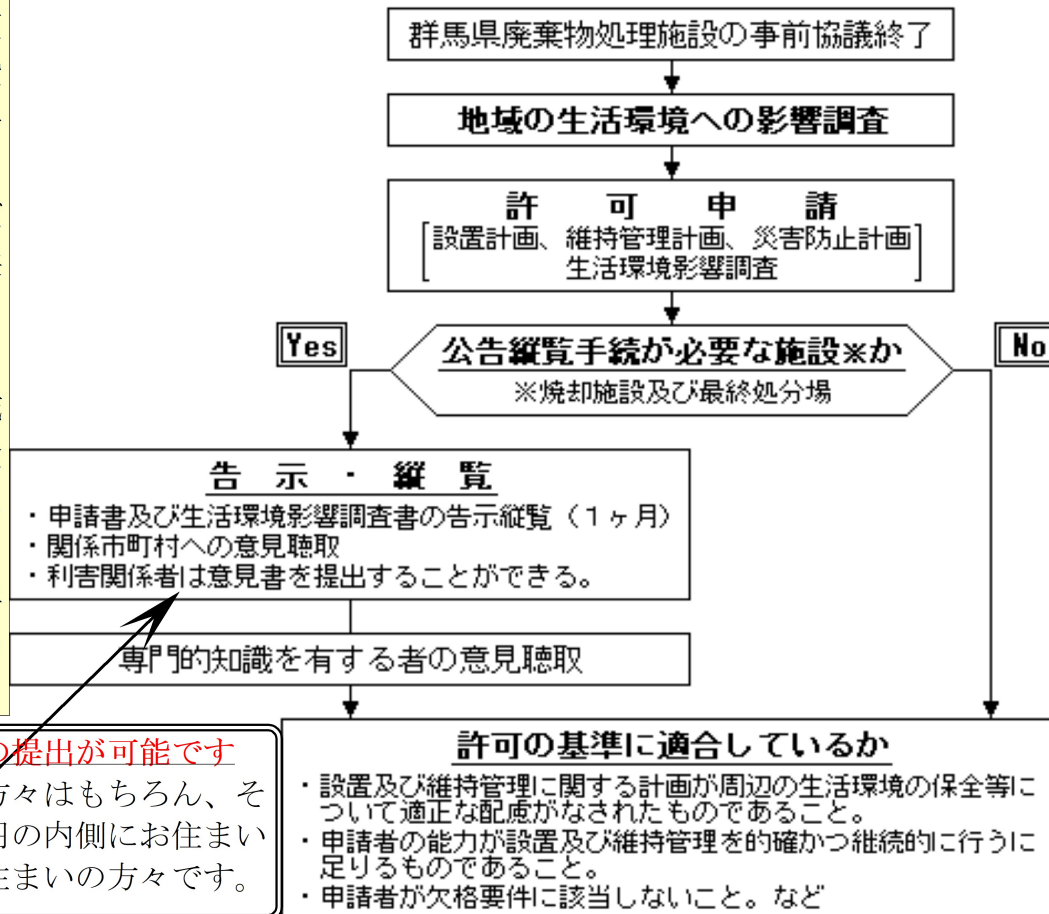
【市長A】第7回の理事会が終了した段階で、施設整備に係る事項の大きな13項目中、4項目の協議が終了し、一部事務組合の統廃合の事項では、15項目中、4項目の協議が終了しています。沼田市や市議会の意見反映については、施設整備協議会における専門部会や幹事会において、意見の反映に努めていきたいと考えています。

### 利根沼田広域市町村圏振興整備組合組織機構図

執行機関（理事会）	議決機関（組合議会）
理事長（沼田市長）	議長（沼田市議会議長）
副理事長（昭和村長）	副議長（片品村議会議長）
理事（片品村長）	議員（沼田市議会議長+2名）
理事（川場村長）	議員（片品村村議会議長）
理事（みなかみ町長）	議員（川場村村議会議長）
	議員（昭和村村議会議長）
	議員（みなかみ町議会議長+1名）
事務局	議会事務局（広域圏組合事務局兼務）
事務局長（沼田市派遣）	

【市長A】関係住民の納得度では、住民説明会において、「建設候補地」の調査については、ご理解をいただいているものと認識しています。また、将来的客観性への市長の決断については、利根沼田地域循環型社会形成推進地域計画において「構成5市町村では、周辺地域と連携・協力により、地域社会に貢献でき環境負荷の少ない広域処理施設の整備を目指す」としていることから、より住みやすい利根沼田とするため、推進して考えます。

### 廃棄物処理施設設置許可手続き（群馬県）



## 本当にココしか新ごみ処理施設建設場所はないのですか

上は、現在の白岩町・柳町周辺の航空写真で、下は約50年前（施設建設当時）の国土地理院の航空写真です。

一目で分かるように当時周辺に人家はほとんど無く関係する住民へ説明会を開催する必要すら無いエリアをしっかりと選定して施設を建設したと推察します。

現在この地域のお住まいの方々は、施設があることを（暗黙含め）承知をしていると思いますが、新たな施設建設となれば話は逆になり、現在住んでる関係者の意向が新ごみ処理施設建設に関して最優先事項となると私は考えます。

### 心配事その①利根沼田全域で探してココ？

## 約50年前と現在の白岩町柳町周辺航空写真





# 9月議会一般質問は前回は採り上げた 利根沼田ごみ処理広域化基本構想について

6月定例会における市長の答弁は、総じて「ほとんどのことが未確定である。」ということと、住民への説明のために基本計画等の素案ができた段階で説明会を開催し、丁寧な事業展開を図るという趣旨であったと理解しています。

しかし、3月には既に利根沼田新ごみ処理施設整備基本計画策定及び事業方式検討（PFI等導入可能性調査）の事業者が選定され、6月には利根沼田新ごみ処理施設整備事業に係る生活環境影響調査業務を既に開始している状況です。こうしたことから、前回の質問及び答弁内容を自分なりに様々検討、推考したところ、幾つかの懸案事項が浮上し、現在進捗している基本計画の策定や、生活環境影響調査の「前提条件」となる調査対象地及びエリアによって計画や市民生活に大きく影響することから、その経過と基本的な考え方について再度質問をさせていただきます。

## 心配事その②そもそも敷地面積が不足

【高柳Q】生活環境影響調査の進捗状況と建設候補地変更の検討状況についてお聞き致します。現在の実質的なごみ処理量の1.33倍の処理能力を持ち、マテリアルリサイクル施設を設置し、さらには補助金対象とするためにもエネルギー活用施設も設置する敷地面積となると（白岩町の敷地では）かなり困難なことは容易に想像できます。候補地変更を含む検討状況全般についてお聞きかせください。

候補地3 (奥利根)
79点 (適合評価40点 +運用評価39点)
総合評価 順位 3
適合条件を満たしているが、運用面において課題がある。



候補地3：みなかみ町奥利根アメニティパーク



利根沼田圏域全体のごみ処理施設を3つから1つに集約して、新たな施設を建設する訳ですから、一般論として敷地面積は「最重点配分要素」となるのは当然ではないでしょうか？

候補地①沼田市白岩町＝約9,800㎡→総合評価94点  
 候補地②みなかみ町＝約30,000㎡→総合評価79点  
 候補地③片品村＝約12,300㎡→総合評価80点  
 フランスでは今年から環境配慮やごみの減量含め、生ゴミの分別が義務化され、世界の潮流となることは必至です。奥利根アメニティでは、既にリサイクルプラザ、ストックヤード、生ゴミ処理施設用地も確保され、今後求められる「熱利用施設」「福利厚生施設」「災害時避難施設」などの用地確保にも容易に対応が可能と考えられます。（近隣にお住まいの皆様のご理解とご協力が前提です）

また、ごみ処理施設＝迷惑施設という概念も一掃させる新時代型施設が誕生しています。今治市の通称：バリクリーンでは、平常時にはスポーツや研修施設として利活用、非常時には避難施設として、300人以上が1週間、電気も食糧も生活用品も安定供給可能な施設として脚光を浴びています。



画像：フェーズフリーデザイン事例集より



【高柳Q】搬入路の確保策と経済性について伺います。詳細調査を待つまでも無く、これに関連して大きく影響を受けるのは、白岩町はもちろん、硯田町、下沼田町、寺久保坂周辺の交通混雑については容易に推察できます。

施設規模が拡大されたことに伴って、大型化したパッカー車等も通行することになり、車線のある道路が必然となります。

前回の答弁の通り「現道を基本」とした場合、この課題の克服は相当困難と考えますが、その後の検討状況をお聞かせください。また、道路の拡幅や変更道路の新設など、その際の必要額についても経済性の面からお聞かせください。



候補地1 (沼田)
94点 (適合評価40点 +運用評価54点)
総合評価 順位 1
適合条件を満たしており、運用面でも評価が高く総合的に高評価である。

候補地1：沼田市外二箇村清掃施設組合清掃工場

## 心配事その③進入路の整備や費用が困難

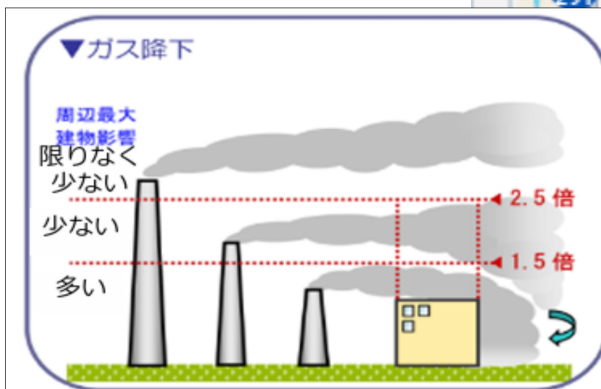
【市長A】既存の道路を基本とし検討するものと考えています。現在、施設整備基本計画の策定、生活環境影響調査などを実施しており、その結果を踏まえ、道路拡幅や搬入路の計画及び予算などを検討するものと考えています。

## 心配事その④市街地にも及ぶ排ガス影響

【高柳Q】煙突の高さと環境影響調査エリアの対象地域の選定について伺います。

現在の焼却施設の煙突の高さは45mと認識しています。ここからの排出ガスは高温の為、例えば2～30m舞い上がって北風の際には、白岩町から約70m上の柳町、両倉内町、榛名町などは、住民生活の高さで浮遊し落下していると考えられます。

以上のように「煙突の高さ」は生活環境影響調査における重要な「前提条件」となります。また、これに関連して「最大着地濃度出現予想距離」についても半径何キロを想定しているのかお聞かせください。現在の位置に建設するとした場合、煙突は数十m程高くすることは、必須と考えていますが、検討状況をお聞かせください。（約2億円の費用追加）



【市長A】建設候補地及びその周辺地域において、現地調査を本年10月から約1年間行う予定です。また、候補地変更の検討状況では、現在、施設整備基本計画の策定及び生活環境影響調査を実施している段階ですので、検討されていないと認識しています。

新施設の煙突の高さは、施設整備基本計画の中で検討するものと考えています。調査の対象地域については、建設候補地及び概ね1キロ離れた地点で行うものと認識しています。

